



宿泊業・飲食業 ryugonの外観

- 本社所在地：新潟県南魚沼郡湯沢町
- 事業概要：温泉旅館業、飲食業、旅行業、物販業、菓子製造業等
- 常時使用する従業員：56名
(グループ全体・2026年3月時点)
- 現在の売上高：12億円
(グループ全体・2025年9月期)
- 法人番号：7110001026605
- Web：https://isen.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
井口 智裕

「雪国文化」を軸とした観光需要を創出する地域共生型企业

株式会社いせんは、新潟県の魚沼地域で創業100年を迎えた温泉旅館です。私たちは創業以来、雪国の自然・文化・食といった地域資源を活かした観光産業を通じて、持続可能な地域社会の実現を目指してきました。100億企業への成長は単なる規模拡大ではなく、自分たちの基盤でもある地域の魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を実現するための挑戦です。「100年後も雪国であるために」という理想に向けて、地域の価値を高め、また新たに事業領域を拡大していくことで、安定した雇用の創出、人材育成、社員の待遇改善を進めるとともに、地域事業者との連携を強化し、観光を軸とした持続的な地域価値の向上に取り組みます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2035年に売上高100億を達成、その後2036年に132億を目指す。
- ・2030年30億円、2033年60億円へ段階的拡大
- ・2030年に古民家宿等10施設規模の宿泊ネットワーク構築
- ・雪国文化体験・ガストロノミー・アウトドアの体験事業を拡大
- ・欧州市場向け旅行事業、地域の食
- ・工芸を扱う地域商社機能を育成
- ・2035年に地域雇用200人規模を創出し、地域の発展に貢献

課題

- ①**人材確保・育成観光** 宿泊業の人材不足が深刻であり、サービス人材・ガイド・料理人などの確保と育成、待遇改善が必要。
- ②**施設投資と資金調達** 10施設規模への拡大には大きな設備投資が必要となり、金融機関や投資家との連携による安定した資金調達が課題。
- ③**ブランド力の強化** 「雪国」や施設ブランドを国内外に認知させ、欧州市場を中心としたインバウンド集客力を高める必要がある。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・高付加価値宿泊ブランドの強化と客単価向上
- ・地域再生型ホテルの開発による宿泊施設の多拠点展開
- ・欧州市場を中心としたインバウンド集客の強化
- ・雪国文化体験の体験コンテンツの造成・商品化
- ・地域の食・工芸品・地酒などを扱う地域商社機能の構築
- ・マーケティング・予約システムの高度化による販売力強化
- ・地域事業者や自治体との連携による地域づくりの推進
- ・人材採用・教育・待遇改善による観光人材の育成と組織強化
- ・金融機関や投資家と連携した資金調達の実施

実施体制

- ①**事業別の推進組織の整備**
宿泊事業、飲食事業、体験事業、地域商社事業など、事業領域ごとに責任者を配置し、事業拡大を推進。
- ②**マーケティング・インバウンド専門チームの設置**
欧州市場を中心とした海外営業・デジタルマーケティングを担う専門チームを整備。
- ③**人材育成と採用強化**
社内教育制度の充実、外部人材の採用、外国人材の活用により、観光人材の育成と組織力強化を図る。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題、及び具体的措置

株式会社いせんは、新潟県湯沢町を拠点に、雪国の自然・文化・食といった地域資源を活かした観光事業を展開してきました。創業から100年にわたり地域とともに歩んできた企業として、地域文化や生活の価値を観光を通じて国内外に発信し、地域経済の活性化と持続可能な観光地域づくりに貢献することを使命としています。

今後は雪国観光圏をはじめとする地域観光の推進主体の一つとして、観光産業を通じた地方創生を実現し、地域の観光産業を牽引する中核企業となることを目指します。そのため、2035年に売上高100億円規模の企業へ成長することを目標とし、地域とともに成長する観光産業モデルの確立を図ります。中間目標として、2030年までに売上高30億円規模へ事業を拡大し、観光産業の成長を通じて地域経済への波及効果を高めていきます。また、2030年に古民家宿や地域再生型ホテルなどを含めた10施設規模の宿泊ネットワークを構築し、地域の滞在拠点を拡充します。これにより地域の宿泊受入能力を高めるとともに、地域独自の価値である「雪国文化」を地域ブランドの新たな顔として定着させることで、海外からの観光客誘致をより強固なものに変えていきます。

事業成長の柱としては、HATAGO井仙およびryugonを中心とした高付加価値宿泊事業の強化に加え、雪国文化体験、ガストロノミー、アウトドアアクティビティなど地域資源を活用した体験型観光の充実を進めます。地域の歴史や文化、食、自然環境を観光コンテンツとして磨き上げることで、地域ならではの滞在価値を提供し、滞在型観光の魅力向上を図ります。また、欧州市場を中心としたインバウンド誘客を強化し、海外旅行会社との連携やデジタルマーケティングの活用により国際観光需要を取り込みます。2035年までに外国人宿泊比率50%規模の観光需要創出を目指し、地域の国際観光地としての認知向上に取り組みます。

